

## 横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例に基づく 令和4年度の実施状況について

脱炭素社会の形成の推進に関する施策の実施状況について ..... 2

### 【掲載取組】

基本方針名	報告書 掲載頁
基本方針5 世界共通の課題である脱炭素化への貢献	21, 22 頁
基本方針6 市役所の率先行動	33 頁

# 脱炭素社会の形成の推進に関する施策の実施状況について

## 基本方針5 世界共通の課題である脱炭素化への貢献

### 取組実績、今後の取組

#### 1 海外諸都市への技術協力・海外インフラビジネスの推進

- Y-PORT 事業において、タイ国バンコク都では脱炭素に向けた会議を共同開催し、横浜市の知見や市内企業の技術を共有するなど、分野別の実行計画策定を支援しました。また、ベトナム国ダナン市では、脱炭素プロジェクト実施のための調査を推進しています。引き続き、国内外のネットワークを活用し、海外都市の脱炭素政策の策定・推進を促進するとともに、海外都市の最新情報やビジネスマッチングの機会を市内企業に提供することで企業の海外展開を支援し、公民連携でアジアの都市の脱炭素化に貢献していきます。

#### 2 脱炭素に関連する国際会議の開催、国際的都市ネットワークとの連携の強化・情報発信によるプレゼンス向上

- 第 11 回アジア・スマートシティ会議を開催しました。「持続可能な成長を実現する公民連携による新たな都市づくり ～脱炭素、SDGs/VLR、スマートシティ～」をテーマとして、本市の脱炭素施策や SDGs の自発的自治体レビュー(VLR)等の取組について国内外に情報発信するとともに、市内企業と海外企業間のビジネスマッチングを行い、地球規模課題の解決に貢献しました。

**基本方針6 市役所の率先行動**  
**局・統括本部ごとの取組実績等**

**国際局**

- 2021(令和3)年度の温室効果ガス排出量は、2013年度比 27.1%減の 400トンとなりました。
- 2022(令和4)年度のエネルギー消費量は、2013年度比 17%減の 9.3TJ となりました。
- 2022(令和4)年度は、各区のラウンジや国際協力センターで LED 等高効率照明を導入し、LED 化率は27%となりました。
- 太陽光発電設備導入の対象施設及び一般公用車の所有はありません。
- 職員の取組として全職員が環境研修を受講し、温暖化対策の取組に対する理解促進を図りました。また、「横浜市グリーン購入の推進に関する基本方針」に基づき、環境に配慮した物品調達等を進めるとともに、局内での打ち合わせなどにおけるペーパーレス化に取り組みました。

<温室効果ガス排出量の状況> (単位:万 t-CO<sub>2</sub>)

基準年度 (2013)	2019年度	2020年度	2021年度	
	実績	実績	実績	増減率 基準年度比
0.055	0.043	0.038	0.040	▲27.1%

<エネルギー消費量の状況> (単位:TJ)

基準年度 (2013)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
	実績	実績	実績	実績	増減率 基準年度比
11.2	9.5	8.7	9.0	9.3	▲17.0%

<公共建築物の新築・改修等における取組(LED 等高効率照明の導入状況)>

全灯数 (2022年度)	LED 等高効率照明の導入割合の推移			
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
1,892	25%	25%	26%	27%

<再エネの導入拡大に向けた取組(太陽光発電設備の導入状況)>

設置済施設数(2022年度)：—

<公用車における取組(一般公用車における次世代自動車等の導入状況)>

一般公用車の 台数 (2022年度)	次世代自動車等の導入割合の推移			
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
—	—	—	—	—